

## ■（公社）日本地すべり学会関東支部令和4年度総会・シンポジウム開催報告 （公社）日本地すべり学会関東支部

### 1. 実施概要

- (1) 開催日  
令和4年5月11日（水）
- (2) 開催地  
日比谷図書文化館（地下一階）大ホール  
（東京都千代田区日比谷公園1-4）
- (3) 主催  
（公社）日本地すべり学会関東支部
- (4) 来賓  
（一社）斜面防災対策技術協会  
関東支部長 上野雄一氏
- (5) 参加人数  
総会：28名，委任状80名，合計108名（定足数87名以上）  
シンポジウム：81名

### 2. 内容

#### (1) 総会

櫻井支部長の挨拶（写真-1）に続いて、来賓の上野雄一氏によるご祝辞（写真-2）をいただいた後、議事に入った。議長は、事務局から井上敬資氏（（国研）農研機構）が推薦され、承認された。定足数・出席者数・表決書数・委任状数が確認され、定足数を満たしたため、総会及び決議が成立することが事務局より説明された。

第1号議案では、櫻井支部長より、支部役員の交代について説明・報告された。審議の結果、賛成多数で、本議案は了承された。

第2号議案では、小林幹事長・小野田副幹事長より、令和3年度の事業報告及び決算報告がなされ、監事による監査報告がされた。審議の結果、賛成多数で、本議案は了承された。

この他、櫻井支部長・小林幹事長より、①運営委員・幹事の退任・選任に関する報告、②令和4年度事業計画・予算に関する報告が行われた。

#### (2) シンポジウム

シンポジウムでは、昨年続き「地すべり技術の現

状と課題」をテーマとして、松浦純生氏より「因果関係が判然としない地すべりから考える今後の研究課題」（写真-3）、小俣新重郎氏より「地すべりの予知と防災マネジメント-ダム関連の変動を例に-5W2H」（写真-4）、上野将司氏より「地下水計測の課題」（写真-5）と題して、それぞれ講演が行われた。講演後、櫻井正明氏をコーディネータとして総合討論が行われ、ベテランも若手も交えて活発な意見交換が行われた（写真-6）。最後に、新支部長の新井場公德氏による挨拶（写真-7）があり、3年ぶりに対面形式で開催されたシンポジウムは閉会となった。

### 3. おわりに

久しぶりに対面での開催となった総会・シンポジウムの会場に、多くの皆様に来場いただき、ありがとうございました。オンラインは遠方からの参加が容易になる利点がありますが、今回、議論の現場に居合わせることの重要性も再認識しました。参加者同士の雑談の中に、次につながるヒントを感じた方もおられたのではないのでしょうか。関東支部では、今回の総会から新しい体制でのスタートを切ることとなりました。今後とも支部の活動、運営にあたり、会員の皆様のご協力のほどよろしくお願い致します。



写真-1 総会・櫻井支部長挨拶



写真-2 総会・来賓の上野雄一氏によるご祝辞



写真-5 シンポジウム・上野将司氏ご講演



写真-3 シンポジウム・松浦純生氏ご講演



写真-6 シンポジウム・総合討論



写真-4 シンポジウム・小俣新重郎氏ご講演



写真-7 新井場新支部長挨拶

(文責：関東支部幹事 林一成)